

異なる出身国のアジア人大学生群は 短期国際授業において異なる学習経験をするのか

Do student cohorts from different national backgrounds
engage in learning differently in a collaborative international project?

伊藤 みちる¹, 櫻井 勇介², 石松 純³, 工藤 理恵⁴
Michiru Ito¹, Yusuke Sakurai², Jun Ishimatsu³, and Rie Kudo⁴

¹大妻女子大学, ²お茶の水女子大学, ³Universiti Teknologi Malaysia, ⁴フェリス女学院大学

キーワード : 留学, 短期国際研修, エンゲージメント, 日記, テキストマイニング
Key words : Study abroad, Short-term international courses, Student engagement, Diary, Text mining

1. 研究目的

国際化の推進が叫ばれる昨今, 地球規模の課題解決や広い視野から物事を分析できる人材の育成が大学に期待されている。中でも出身国が異なるなど背景を異にする学生が共に学ぶグローバルな多文化協働学習が注目され, 有効性が主張されている。しかし, 同じ多文化協働学習に参加する異なる背景を持つ学生群の比較研究は未だ存在せず, その異なる背景を持つ学生たちが, 同様の学習経験をどのように認識しているのかの解明には至っていない。

さらに数週間程度の短期国際授業のような多文化協働学習の中で学生がどのように学びの機会に関与 (Engagement) しているかは, 教育の質を示す近年の重要な視点であり, 授業実施後の聞き取り調査やアンケートなどによる研究成果は公開されている。しかし, 事後に学生の認識を一括して収集する方法では, 強く印象に残った特定の経験が取り立てて扱われがちな問題があり, 日々の経験を探索的に把握したい場合には学習日記のような資料も有効である。

そこで本研究は, 本計画の一員が関わる短期

【調査データ】学習日記・総括レポート

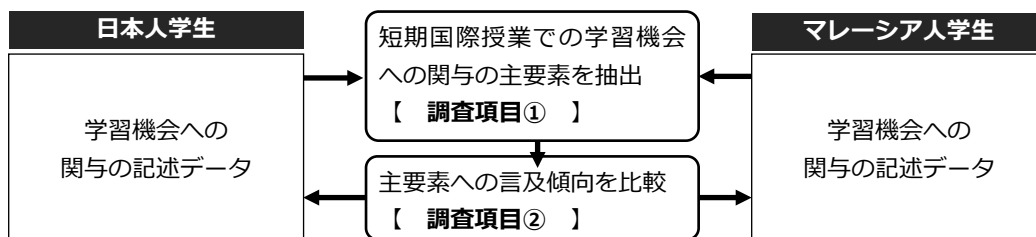


図1. 本研究の分析手続きの見取り図

国際授業において, 日本とマレーシアの大学生の①学習への関与の状況と②その2群間の関与の特徴の異同の2点を明らかにすることにした。そのために, 履修生の学習日記と総括レポートから質的データを収集し分析を行った。本研究の見解はこれまでは渡航者の教育的利益ばかりが強調されがちだった短期国際授業の実践に重要な視点を与え, 受け入れ機関, 送り出し機関双方にとってその意義を再認識させ, 類似の教育プログラム開発の促進に資する。

2. 研究実施内容

マレーシアで行われた短期国際授業に参加した日本人, マレーシア人大学生の学習日記と総括レポートを使用し, 個々の学生がどのような学習機会に関与しているかを, テキストマイニングの手法で抽出した【調査項目①】。そして, その機会の主要素への言及傾向を2群で比較しその傾向を明らかにした【調査項目②】(図1参照)。そして「短期国際授業の主な学習機会」と「受入れ学生と送り出し学生の学習機会への関与の異同の整理」を通して本研究の達成とした。

本研究は 2017-18 年に開講されたマレーシアでの短期国際授業に参加し、データの提供に同意した日本人、マレーシア人学生 35 名の授業開講期間中の学習日記と修了後に提出する学習成果の総括レポートをデータとして分析した。

学習日記とは、日本人とマレーシア人の本授業履修者が、得られた知識、態度、スキルについて内省し、2 日おきに 200 語以上の英文日記にまとめたものである。また総括レポートは、本授業履修者が、授業で学んだ内容を総括し、授業終了後に英文 500 語程度で学習成果をまとめたものである。このレポートでも、身に付いた知識、態度、スキルについて振り返ることが求められ、授業中の経験と関連付けながら具体的な叙述を求めた。

- (1) **調査項目①** **学習経験の主要因の抽出**
 - 学習日記と総括レポートから学生の学習経験の記述からテキストマイニングの手法でその主要因を抽出した。
- (2) **調査項目②** **他者との学習管理調整行動の分析**
 - 抽出された主要因に対して、日本人とマレーシア人学生の言及の頻度にどのように傾向があるか同定した。
 - それぞれの主要因がどのような内容なのか、2 群を比較しつつ具体的に解説した。

上記の分析調査より明らかになった点は以下のとおりである。

①本プログラムでの学生の学習への関与の主要因は(1)文化経験、(2)異文化コミュニケーション、(3)満足感、(4)学業科目知識、(5)協働体験の 5 つに整理された。

②日本人学生は(1)文化経験や(2)協働体験についての言及が多く、現地での様々な文化的事象や人々と関与する経験がマレーシア人学生より顕著に見られた。

③一方で、マレーシア人学生は(4)学業科目知識についての言及が多く、授業で習得した知識やその活用についての言及が多く見られた。

これらが主な本研究の結果であったが、同様に指摘しておくべきことは、マレーシアの受入れ学生も、日本からの派遣学生もこれらの主要因についてある程度言及しており、どちらの学生にとっても、このような短期国際授業が意味

のある教育機会であることが示唆された。特に自国で履修するマレーシア人にとっても、自国にいながら日本人学生と様々な異文化体験をしていたことは重要な知見であり、海外に行くことだけが学生の異文化体験の涵養に資する機会になるわけではないことが再確認された。

3. まとめと今後の課題

本研究は、異なる背景を持つ学生が共に学ぶ多文化協働学習授業の教育効果として報告されている「異文化理解」「外国語学習への理解」「自己理解」「協働方策の理解」等について、同様の学習経験の要素が抽出され、先行研究の成果とも多くの面で共鳴する。今回は、日本人学生とマレーシア人学生の事例を検証し、日々の学業への経験を把握できる可能性がある学習日記を活用し彼らの学習への関与の様子を実証的に模索した。特に、同じプログラムに参加する異なる出身国の学生がその成果を同様に認識していないであろうことは容易に推測ができるが、本研究はそれがどのように異なるかを明らかにした。

本研究では、短期国際授業で渡航する学生に注目してきた従来の多くの研究とは一線を画し、受入れ側の学生の学習機会への関与の様子を解明し、その特徴を明らかにすることを達成した。従来研究ではこの視点はまだ少なく、まだ今後の知見の積み重ねの必要性があるとはいえ、本研究は学術的にも重要な意義があると言える。

4. この助成による発表論文等

①雑誌論文

- [1] Sakurai, Y. "Students' perceptions of the impacts of short-term international courses". *Journal of Research in Innovative Teaching & Learning*. Vol. 12 No. 3, 2019: pp. 250-267.

②学会発表

- [1] Sakurai, Y. (2019) The 18th Biennial EARLI (European Association for Research on Learning and Instruction) Conference, "Impact of short-term international experiences on university students' academic engagement: One year later". RWTH Aachen University, Germany, 2019, 年 8 月 12-16 August. (Refereed). 【短期国際研修授業の大学生学業エンゲージメントへの長期的インパクト：帰国 1 年後に注目して】

③図書

- [1] 櫻井勇介編『日本で出会う世界 国内で実現する短期集中型国際研修』上智大学出版。2020年2月。
- [2] Yusuke, S. et al. “Using text mining in a diary study unpacking students’ engagement in a short-term international course: Different groups in the same setting”. *Empirical research of teaching and learning in Higher Education*. 2020. WAXMANN: Germany (forthcoming)

④その他口頭発表

- [1] Ito, M. (2020) “Impact of short-term international cultural exchange programme on university students”. Rajhabat Valaya University, Thailand, 9 March, 2020. 【短期国際研修授業の

大学生学業エンゲージメントへのインパクト】

- [2] Ito, M. (2020) “Impact of short-term international cultural exchange programme on university students”. Suan Dusit University, Thailand, 10 March, 2020. 【短期国際研修授業の大学生学業エンゲージメントへのインパクト】
- [3] Ito, M. (2020) “Impact of short-term international cultural exchange programme on university students”. Suan Sunandha Rajhabat University, Thailand, 11 March, 2020. 【短期国際研修授業の大学生学業エンゲージメントへのインパクト】